

大型小売店の空きスペースを活用した、老若男女が集うコミュニティ施設「さくらんぼ遊々館」、既存商店街の夕方の賑わいを創出！

## 社会福祉法人東根市社会福祉協議会

機関名	社会福祉法人東根市社会福祉協議会（東根市商工会）		
所在地	山形県東根市中央1-3-5		
電話番号	0237-41-2361		
地域概要	(1)管内人口 46千人	(2)管内商店街数 4商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 47商店	
	(3)空店舗率 2.8%	(4)大型店空き店舗数 0店舗	
	東根中央商店街		
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（学童保育施設）  
 ・学童保育所 ・ふれあいPC室  
 ・子育て相談室 ・子育てルーム  
 総事業費 13,111千円

### 【事業実施内容】

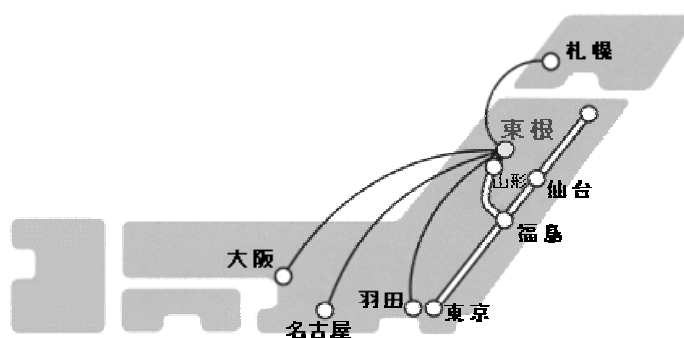
#### 1. 背景

東根市は、山形県の中央部村山盆地に位置し、東は仙台市、南は山形市・天童市に隣接した温泉のある自然豊かな田園都市である。

同市は、古くより政治・経済上の中心地として、また交通の要衝として発展し、現在は、さくらんぼ（生産量日本一）、りんご等山形県有数の果樹産地となっているほか、大森工業団地にはハイテク産業などが集積

している。また、高速交通網の拠点都市として、これからも飛躍的な発展が期待されている。

本市の中心部に新市街地を形成するため、「新都心づくり」の基礎となる中央土地区画整理事業が平成2年に完了し、その新都心づくりの核となる商業施設として、ヨークベニマル東根店が出店したことにより、周辺に中規模店が進出するなどの商業集積が図られた。引き続き平成6年度から新駅建設を始めとした都市拠点整備を内容とする一本木土地区画整理事業



東根市の位置（東根市HPより）

に着手し、また、平成 11 年度には山形新幹線開業に合わせ、新駅「さくらんぼ東根駅」が完成した。

しかし、それと同じ頃、県内最大の売場面積を有する大型小売店が出店したことで既存商店街の空洞化が進み、先に出店したヨークベニマル店内についても、2階の空きスペースが目立つようになってきた。

これを受け、既存商店街の賑わいを創出し、また、大型小売店のテナントとして出店している市内事業者や出店店舗、地元事業者の活性化を目的として、ヨークベニマル東根店2階の約 313 坪を借用し、学童保育所や市民利用スペース等のコミュニティ施設活用事業を実施した。

## 2. 事業内容

### (1) 事業内容

昨年度に引き続き、ヨークベニマル東根店の2階（約 1,030 m<sup>2</sup>）を「さくらんぼ遊々館」として、学童保育施設、子育て支援施設、及び高齢者交流施設の運営を行った。

### (2) フロア構成施設

実施施設	事業内容
学童保育所	放課後児童クラブ「タントスマイルクラブ中部学童保育所」として活用。83名登録。
子育て相談室	育児サークルの利用や子育て相談会を実施。
ふれあいコンピューター室	高齢者や児童、及び一般市民が自由にパソコンに接し、慣れ親しむ環境を提供した。
子育てルーム	幼児を遊ばせながら、子育ての情報交換や交流を実施できる環境を提供した。
コミュニティールーム	学童保育所の屋内遊技場及び高齢者の軽運動を行う広場として設置。夜間は踊り団体の練習場として活用。
会議室	子育てサークルの打合せや様々な年齢層に渡る趣味の講座等に利用。
学習室 1	学習や読書もできる環境を提供した。また、管理人を配置し、管理室も共用している。
学習室 2	書架を配置し、学習や読書のできるスペースとして活用。

### ①学童保育所

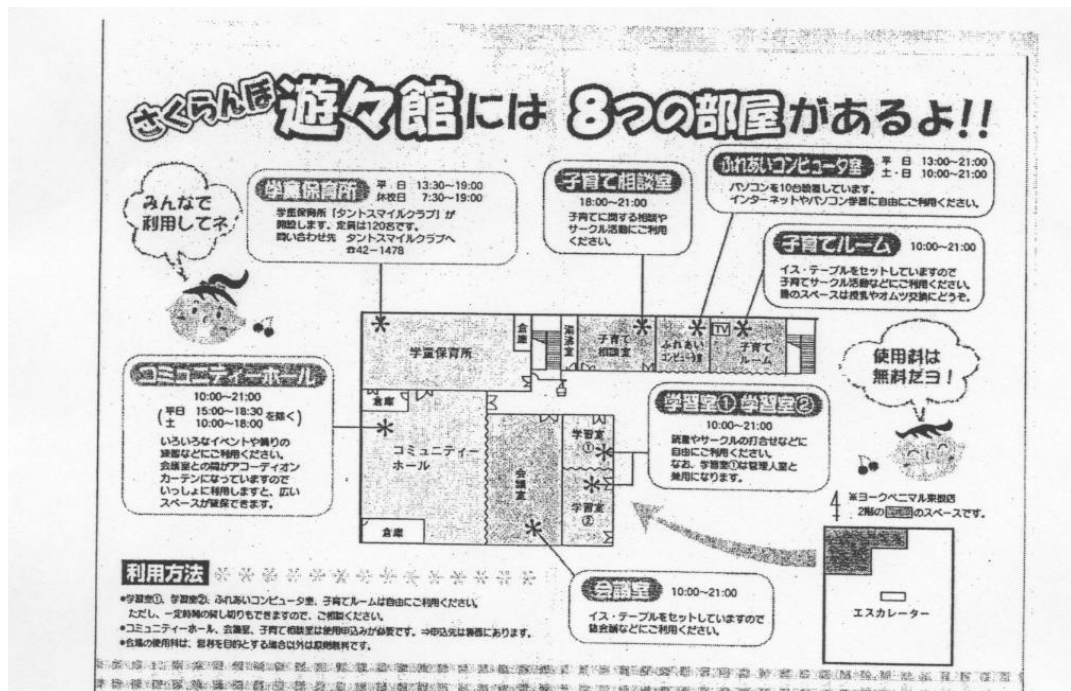
昼間、保護者のいない家庭の児童育成・指導のため、勉強や遊びを通しての健全育成活動を行う会員制施設で、任意団体であるタントスマイルクラブが運営している。

平成 14 年 7 月 21 日のオープンから平成 16 年 3 月 31 日まで 149 名の会員登録があり、延べ利用者数は 37,199 名である。3 年目となる平成 16 年度の実績は、会員数 83 名、延べ利用者数 24,402 名と年間計画である会員数 80 名、延べ利用者数 24,000 名を超える結果となっている。

- 1) 運営体制：職員数6名（うち非常勤3人）
- 2) 対象：小学生の児童（定員：120名）
- 3) 開設時間：平日 13：00～19：00  
（土曜等 7：30～18：00）
- 4) 入所料：3,000円
- 5) 保育料：1年生～3年生 月額9,000円  
4年生 月額7,000円  
5年生～6年生 月額5,000円

<学童保育所利用者数>

	平成14年7月21日 ～平成15年3月31日	平成15年4月1日 ～平成16年3月31日	平成16年4月1日 ～平成17年3月31日
会員登録数	70名	79名	83名
利用者数	14,210名	22,989名	24,402名



さくらんぼ遊々館 館内説明図

②子育て相談室

午前中は不登校児の適応教室として活用、午後から子育て相談・打ち合わせ等に活用している。子育て相談を午後からにしている理由は、消費者が商店街で買物をする時間帯が主に午後なので、「子育て相談は午後の方が都合がよい。」というニーズを反映させたものである。

③ふれあいコンピューター室

高齢者や児童及び一般市民が自由にパソコンに慣れ親しんでもらい、またパソコンを

## 社会福祉法人東根市社会福祉協議会

通じたコミュニケーションを図ることを目的とした施設である。

- 1) 一般区分：一般市民が自由に活用できる区分  
年間 2,537 名の利用（月平均 211 名）
- 2) 占有区分：パソコン教室として次のように活用されている。

講座名	シニアパソコン教室	シニアパソコン教室（OB対象）
講師	シニアパソコンボランティア （有志 5 名にて）	シニアパソコンボランティア （有志 5 名にて）
対象者	60 歳以上の方	シニアパソコン教室卒業生
開催回数	週 2 回（月・水 13:00～16:00） 1 回あたり 10 名	月 1 回（午後） 1 回あたり 10 名
受講料	無 料	無 料

### ④子育てルーム

開設時間は、10:00～21:00 である。主に子どもを遊ばせるために活用している。また、部屋が畳であり、子どもへの授乳やおむつ交換をすることも可能である。母親同士の情報交換の場ともなっている。

### ⑤コミュニティルーム

学童保育所の屋内遊戯場及び高齢者の軽運動を行う広場として活用されている。

- ・年間利用者数実績：3,239 名（月平均 277 名）

※年間利用者数目標 1,800 名（月平均 150 名）を大幅に越えた。

### ⑥会議室

趣味の講座、軽運動に活用している。

- ・年間利用者数実績：3,422 名（月平均 285 名）

※年間利用者数目標 960 名（月平均 80 名）を大幅に越えた。

### ⑦学習室

学習、読書、さまざまな打合せなどの部屋として活用されている。

### <さくらんぼ遊々館利用実績>

	ふれあいコンピューター室		コミュニティホール	会議室	学童保育所	総計
	一般	占有	2 部屋利用			
平成 15 年度	3,155 名	82 団体 778 名	112 団体 1,946 名	73 団体 1,150 名	22,989 名 (会員数： 79 名登録)	30,903 名
			28 団体 885 名			
平成 16 年度	2,537 名	80 団体 800 名	210 団体 3,329 名	126 団体 3,422 名	24,402 名 (会員数： 83 名登録)	35,819 名
			74 団体 1,329 名			

## 【 効 果 】

### 1. 来街者数の増加

学童保育所の設置により、学童を送迎する保護者が商店街に集まってくる。会社勤務を終えた保護者が迎えに来る時間帯は夕方5時から7時が中心であるが、その時間帯の買物客は増加している。

### 2. 来街者の行動

ふれあいコンピュータ室においては、高齢者向けのパソコン教室を開催した。高齢者は家から出不精になりがちだが、参加者からは「友人関係が広がった」など大好評であった。

また、コミュニティホールでは、太極拳やよさこい祭りの踊りの練習などの利用があり、老若男女が集う活性化施設となった。

## 【 課 題 ・ 反 省 点 】

### 1. PR

開設して2年余り、年間で約35,819人の利用があり、昨年に比べ利用者数が約5,000人の増加とかなり伸びている。しかし、コミュニティホールや会議室を利用する団体は、固定化していることから、積極的なPRが必要である。

### 2. 外部施設環境変化による施設利用形態の見直し

当該施設の近くに保育所やホールの機能を持つ施設ができたことから、利用形態の見直しを検討する必要がある。

## 【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

公共施設部分と商業施設部分が思いのほか、うまくリンクしている。賑わいの創出を図るため、人と人のふれあいを大事にすることがポイントである。

## 【 関 連 U R L 】

東根市商工会HP <http://www.shokokai-yamagata.or.jp/higashine/>